

令和2年度 自己評価書・学校関係者評価書

■ そう思う ■ どちらかといえば、そう思う ■ どちらかといえば、そう思わない ■ そう思わない ■ 無回答

①豊かな心をはぐくむ教育の推進

1 一人一人の児童生徒の尊重	2 友達への思いやり	3 道徳・心の教育の充実
<p>学校は、一人一人の子どもを大切にしたい指導や対応ができていますか。</p>	<p>子どもは、友だちとなかよくしていると思いますか。</p>	<p>学校は、豊かな人間性を育む心の教育の充実に努めていますか。(礼儀、生命尊重、思いやりなど)</p>
<p>【学校から】「一人一人の生徒の尊重」について、保護者の「4」「3」を合わせた割合は、昨年度より10%増加している。教職員では「4」「3」合わせてほぼ100%である。各担任は生活ノートやタブレットで生徒と密にかかわり、保護者への連絡等も適宜行っている。生徒は全体的に素直で落ち着いた生活ができており、「友達への思いやり」について生徒の「4」「3」合わせて95%程度あり、良い雰囲気を作っている。しかし、「2」「1」の生徒もあり、他者を思いやる気持ちの醸成やより好ましい集団づくりに取り組みたい。「道徳・心の教育の充実」においては、保護者の評価が「4」「3」合わせて93%あり、昨年度より伸びている。昨年度からホームページを刷新し保護者の閲覧も増加しているが、掲載している学校便り等を通じて、教育方針・目標や学校での様子を今後も継続して積極的に発信していきたい。</p>		

②確かな学力を育む教育の推進

4 意欲的な学習態度	5 授業力向上	6 ICT活用
<p>子どもは、意欲的に授業に取り組んでいると思いますか。</p>	<p>先生方は、わかる授業、楽しい授業づくりに努めていますか。</p>	<p>先生方は、ICT機器を活用してわかりやすい授業づくりに努めていますか。</p>
<p>【学校から】「意欲的な学習態度」について生徒の「3」「4」の割合は昨年とほぼ同じであるが、保護者の割合は10%以上高くなっている。大型電子黒板導入に加え、今年度は1人1台のタブレット導入により授業・学習スタイルが変化し、生徒の興味関心、学習意欲の向上にもつながっている。「授業力向上」においては、保護者の「4」「3」合わせた評価が昨年度より10%程度高くなっている。ICT機器等を有効活用し、思考の可視化や、協働的な学びが高まってきており、今後さらなる研修で学力の充実を図りたい。また、「わからない」「楽しくない」という生徒が存在することも謙虚に受け止めて取り組んでいきたい。「ICT活用」においてはタブレット等の導入・活用により、3者すべて評価が高まっている。今後も研修を重ねてより分かりやすい授業づくりに努めていきたい。</p>		

③健やかな体を育む教育の推進

7 健康づくり
<p>子どもは、好き嫌いをなく食事をし適度な運動と十分な睡眠に気をつけて生活していると思いますか。</p>
<p>【学校から】健康づくりについては、保護者・生徒の「3」「4」を合わせた割合が昨年度に比べ若干低下している。新型コロナウイルス感染症による休校期間の存在や、諸活動の制限などの影響も大きいと考えられるが、家庭での食生活や、SNS等の利用を含めたメディアとの上手な付き合い方など、学校と家庭との連携を密に行いながら取り組んでいきたい。</p>

①いじめ不登校などに対する相談支援体制の充実

8 児童生徒理解
<p>先生方は、子どものよさを見つけ、子どもを理解しようとしていますか。</p>
<p>【学校から】「児童生徒理解」については、「4」「3」を合わせた割合が保護者・職員ともにほぼ9割以上である。ただ、「1」「2」と回答した生徒が約2割、保護者が1割程度いることを真摯に受け止める必要がある。「いじめや問題への対応」については「4」「3」と回答した保護者の割合は昨年度より高くなっている。「1」「2」と回答した保護者、生徒はともに1割程度あり、現状を真摯に受け止め、今後もいじめや問題行動に対し、チームとして、保護者や生徒の思いをしっかりと受け止めて組織的に取り組んでいく必要がある。「学校の支援体制」については昨年度とほぼ同様の評価であった。学校支援委員会の充実や、生徒指導上の問題や不登校対策など学校、学年での組織的な教育相談体制などをさらに充実させたい。一人の生徒を全体で見えていく「チーム学校」として対応する体制を継続して丁寧に取り組んでいきたい。</p>

②特別支援教育の推進

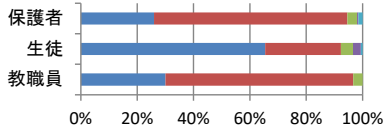
9 いじめや問題への対応	10 学校の支援体制
<p>学校では、いじめや問題があったとき、すぐに話を聞いて対応していると思いますか。</p>	<p>学校は、支援を必要とする子どもの教育について、共通理解を図りながら取り組んでいると思いますか。</p>
<p>【学校から】「いじめや問題への対応」については「4」「3」と回答した保護者の割合は昨年度より高くなっている。「1」「2」と回答した保護者、生徒はともに1割程度あり、現状を真摯に受け止め、今後もいじめや問題行動に対し、チームとして、保護者や生徒の思いをしっかりと受け止めて組織的に取り組んでいく必要がある。「学校の支援体制」については昨年度とほぼ同様の評価であった。学校支援委員会の充実や、生徒指導上の問題や不登校対策など学校、学年での組織的な教育相談体制などをさらに充実させたい。一人の生徒を全体で見えていく「チーム学校」として対応する体制を継続して丁寧に取り組んでいきたい。</p>	

①子どもたちの身近な安全対策の充実

②最適な学習環境の整備

11 安全と事故防止

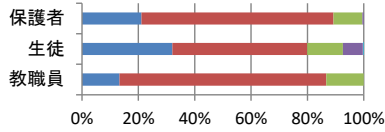
学校は、子どもの事故防止などの安全教育に取り組んでいると思いますか。



【学校から】「安全と事故防止」について、「4」「3」の割合がほぼ9割以上あり、武蔵中校区少年非行防止ネットワークを中心とした校区パトロールや情報交換、交通安全指導、事故防止対応などの取り組みが行われている。また、地震・火災対応、不審者対策などの避難訓練を通して、生徒、教職員の防災意識を高める活動を行っている。保護者の「4」が2割弱という実態から保護者の意見も参考にしていきたい。

12 施設・設備の安全管理

学校の施設・設備は、安全でよく整備・管理されていると思いますか。

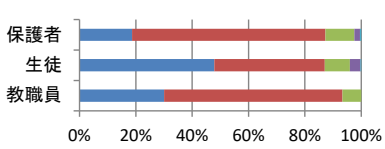


【学校から】「施設・設備の安全管理」について保護者が「4」「3」と回答した割合が昨年度より高くなっているが、教職員が「2」と回答した割合が大きくなっている。校舎や体育館等の老朽化による故障等が増えてきたことが要因と考えられるが、市教委とも連携し可能な限り迅速に改善するよう努力している。学校の施設・設備の管理については、定期的な安全点検をさらに充実させ、常に危機管理の意識を高めて対応していきたい。

③家庭・地域社会との連携強化

13 教育方針・目標の理解

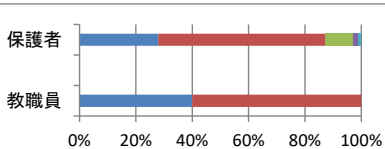
学校は、教育方針や教育目標などを、子どもや保護者地域にわかりやすく示していると思いますか。



【学校から】「教育方針・目標の理解」については、「4」「3」を合わせた割合は保護者の回答が昨年度より7%程度伸びている。学校教育目標「21世紀をたくましく生きる自律し協働できる生徒の育成」を目指し、学校だよりや学校ホームページ等で保護者や地域へ、始業式や終業式、集会等で生徒へ、職員会議や職員朝会で教職員へ発信している。特に学校ホームページによる学校紹介では保護者だけでなく地域や外部へも学校の情報を伝える有効な手段となっている。「家庭や地域との連携協力」については、今年度は新型コロナウイルスの影響で実施が困難なところもあったが、本校では学友団やネットワーク会議といった地域連携の活動も多くあり、地域の活動に生徒たちが参加する機会も多い。保護者への活動の様子をさらに紹介したり、教職員も係わりを深めていきたい。

14 家庭や地域との連携協力

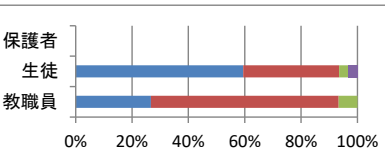
学校は、家庭や地域と連携・協力しながら教育活動を進めていると思いますか。



④本校の教育

15 「爽」さわやかな挨拶

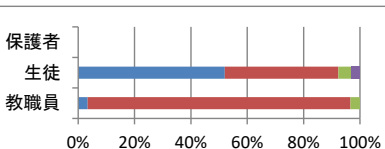
生徒は、自分からすすんであいさつをしていますか。



【学校から】本校の生徒指導のスローガンである「爽・研・美」については、生徒会の各委員会における活動計画の中に具体的実践として位置付けており、生徒・教職員ともに日々の活動に結びつけている。あいさつに対しては、生徒の意識が非常に高く、「4」「3」を合わせた割合が90%を超えており、立ち止まった挨拶を実践する生徒も多く、地域からお褒めの言葉をいただいている。時間を守ることにについては、生徒の「4」の割合が昨年度より増えている。授業開始2分前着席など、自分たちで意識して、主体的に取り組ませること等を今後も継続していきたい。掃除への取り組みは、無言清掃など徹底できている。今後も自分たちで気づき、考え、主体的に取り組む態度をより高めていきたい。

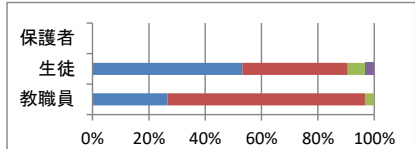
16 「研」研ぎ澄まされた時間感覚

生徒は、時間を守る行動がとれていますか。



17 「美」美しい学校、美しい立ち振る舞い

生徒は、学校を大事に（きれいに）したいという気持ちで掃除に取り組んでいますか。



来年度の具体的な取り組みについて

- 今年度の学校教育目標「21世紀をたくましくいきる自律し協働できる生徒の育成」のさらなる充実を目指し、地域、学校、家庭が一体となって生徒の育成に取り組む。そのために、学校ホームページ等をさらに活用し、地域に開かれた学校づくりをめざしたい。
- 「豊かな心を育む教育」の充実のために、道徳教育や日常的なボランティア活動を推進し、お互いの良さを認め合える人間関係づくりに取り組む。
- より高いレベルの「主体的・対話的な深い学び」を目指し、タブレットや電子黒板などのICTを効果的に活用した授業づくりを推進し、授業力向上のための研修を充実させていきたい。
- 「学校環境緑化」のさらなる充実に向け、緑化や掲示、施設の美化に努め、生徒全員が主体となり協働していく学校づくりを目指す。また、地域に生きる生徒の育成のため、学友団と地域清掃活動を中心としたボランティア活動や地域連携を日常的に図りたい。
- 校務におけるICT活用の推進や、教育課程の見直し、工夫・改善等により、時間的なゆとりを生み出すことができているが、今後も改善を重ね、教育活動をさらに充実できるようにしたい。
- 食育や保健面での学習を充実させ基本的な生活習慣の確立を図る。また、心身共に健康な生活を送れるように、より一層の工夫に努めたい。

学校関係者評価

- さわやかな挨拶ができる生徒がとて多く、とてもよい雰囲気を感じる。生徒たちの様子から生徒と先生方との関係が良好である印象を受ける。
- あいさつや掃除がきちんとできることは誇らしいことであり、武蔵中の良い伝統として今後も継承していただきたい。
- 学校緑化の組織的推進により花壇の整備などとてもよくできている。また、どのクラスも教室環境が整っていて、生徒の落ち着いた生活につながっている。
- 「いじめや問題への対応」について、概ね良好であるが、「2」「1」と答えた1割程度の生徒や保護者もいることを受け、原因の分析と具体的な対応についても検討していただきたい。
- 現行の制度（学級編制）や教室スペースの関係から難しいことかもしれないが、1学級40人在籍しているクラスは、かなり狭く感じる。全学年ともに35人学級の実現を望むところである。
- 今年度は、例年通りのスタイルでの体育大会は実施が難しかったようだが、近隣校の実施状況等も考慮ながら計画・実施していただきたい。